

令和7年度(令和6年度実績) 総合評価書 <施設名 多治見市モザイクタイルミュージアム>

1. 指定管理者名	一般財団法人たじみ・笠原タイル館
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)多治見市モザイクタイルミュージアムの事業の実施に関すること (2)多治見市モザイクタイルミュージアムの維持管理に関すること (3)観覧料、利用料金に関すること (4)減免対象者の利用に関すること (5)施設等の利用許可に関すること (6)その他の業務

4. 採点表				実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)				分析・評価、指示等		得点		
評価項目		細目		配点	採点基準							
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	0	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目・前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降・指定期間における当該評価年度の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。	105%以上 5点	R6年度入館人数 83,768人≪R5年度:80,555人、R4年度:86,745人、R3年度:96,457人≫ R6年度開館日数 306日≪R5年度:308日、R4年度:308日、R3年度:273日≫ 1日平均 274人/日≪R5年度:262人/日、R4年度:282人/日、R3年度:207人/日≫ ・体験工房利用者 22,508人≪R5:19,458人、R4年度:18,626人、R3年度:11,171人≫ 開館2年目の平成29年度の入場者が最高値となり、その後コロナの影響もあり年々減少が続いていたものの、復調しており、十分な実績を残している。 設立当初は、独創的な建築物としてニュースバリューがあり、メディアに多く取り上げられ来館者の増加に繋がっていた。現在は、その建築物としての「インスタ映え」のみならず、ユニークな企画展、他機関等との連携により、モザイクタイルの魅力向上に努め、来館者数増加に繋げている。 ・コロナ禍以降も、目標年間来館者数10万人には届いていない。しかし、陶磁街フェスティバル共通券効果があったとはいえ、来館者数は約3,200人程増加しており、前年の落ち込み(R5はR4から6千人程減少)と比較しても評価できる。企画展「青の誘惑」は来場者約42,000人と、魅力的な企画といえる。また、体験工房について、事前予約制を撤廃したことも影響し、利用者数が3千人程増加した点も工夫が見られる。 引き続き、インバウンド需要や団体などの取り込みなど、更なる来館者数増加の取組に期待したい。	10点			
			②利用人数	10	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点							
				(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	0	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点						
				(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	30	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・企画展を年間3本「収蔵庫大公開・モザイクタイルの過去・現在・未来ー」(「永見夏子とモザイク展(多治見市共催)」「前期・後期」「青の誘惑ータイルにみる青の世界ー」(約半年間)を開催。また、これらに企画展に関わる様々な関連企画も実施。 ・体験工房では、ワンコイン工作(フォトフレーム等製作)を実施(利用者22,508人)。 ・その他、館外活動、他機関との協力、連携、収蔵資料に関する事業等を実施。タイル産業の振興に資する事業について若手の地元企業社長等が中心となってプロジェクト会議を実施。 ・大学とタイル業界との交流を目的とした産学連携事業で、名城大学・名古屋芸術大学とのコラボ企画「モザミュータイルラボ・リレープロジェクト」を実施。学生によるクロストーク、業界関係者との交流会も行った。	期待以上 15点	・R5年度末の1回目を皮切りに、新たな取組「ギャラリートーク」を企画・実施した。「収蔵庫大公開」特別展示の出展企業10社のうち、9社の社長に普段接点のない一般の市民が近い距離で話を聞くことができた。「推しタイルを投票しよう」では約1,200人の参加者があり、タイルプレゼント企画として盛況だった。タイル業界の記録保持という面でも価値のある盛事であると評価できる。 やはりタイルに熱心な人も興味を持ってもらい、多治見市の観光資源としての価値を高めていくことが重要。そのうえで、「永見夏子とモザイク展」は永見氏自身初の試みとなるイラストとタイルを融合させた作品展開であり、タイルの新たな魅力を発信する場となった。 ・前回評価時に、検討事項として、多くの人が興味を惹かれる魅力的な企画展を開催し、入館料とは別で企画展料金を得ることを挙げ、このことについて、3月から常設展示に加えて特別展示料金500円を設定、来館者の混乱などもなく、スムーズに運営できている。 また、特別展示「青の誘惑」については「鑑賞ノート」(A4特殊サイズ60ページの付録)を作成し、配布する新たな取組を実施。ビジュアルの工夫としても、ホワイトキューブに茶室を作り、青いタイルの空間に文字通り「誘われる」設えで来場者数増に繋げた。	27点		
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	適正に実施されている。 施設周辺他施設と連携して月1回(第3木曜日)地域清掃を実施している。	適正(普通) 2点	照明、空調、給排水などの設備を日常的に点検。空調は、定期的にフィルターを取替えている。植栽等の剪定を適宜実施している。 館内に監視カメラを設置し、作品の監視、来場者の安全を確保。防火管理有資格者を配置。 市への連絡も含め、適宜対応している。	10点			
			②保守・点検			適正に実施されている。	適正(普通) 2点					
			③保安・警備			適正に実施されている。	適正(普通) 2点					
			④小規模修繕			タイルの剥がれ、水漏れ対応等、適正に実施されている。	適正(普通) 2点					
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			適正に実施されている。	適正(普通) 2点					
		(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	適正に実施されている。	適正(普通) 2点	文書はキャビネットやレターケースで適切に管理。	10点			
			②環境への配慮			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	社内用の文書には、古辞書や裏紙を使用				
			③バリアフリー			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	通路、展示室、工房の出入口など、車椅子等に十分対応できる広さが保たれており、また段差もない。				
			④備品管理			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	管理者備品については、市とは別の台帳で管理されている。				
			⑤個人情報保護			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	個人情報が含まれる書類等については、鍵のかかるキャビネットで保管し、パソコンでは、個人情報情報をパスワードをかけて共有フォルダで管理している。				
	⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故等に対し、適宜対応した。 しるあり発生(1件)、収蔵庫の除湿機故障・交換、防犯カメラの不具合・修理(1件)外壁の汚れ(1件)、降雨による水の染み(1件)	事故なし・対応に不備なし 0点	事故等については適宜対応。市へも報告あり。	0点					
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点 ※指定管理者の収支報告書等から、適切に管理されていることを確認する	収入 112,590,687 ÷支出 103,132,687 =109%	105%以上 5点	適切に経営されている。	5点				
4	より良い施設運営 のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	アンケートなど指定管理者が行ったニーズ把握の結果等を記載する。	期待以上 10点	・1階暖炉前にアンケートを常設(紙及びQRコードによるスマホ回答)、来場者のニーズの把握に努めている。 ・要望等について、職員で情報を共有し、改善点を洗い出し、適切な対応を実施している。 ・アンケートの結果を集計し、企画展や展示方法など事業に反映している。有効回答数には課題あり(0.42%) ・館内連携の2階産業振興フロアでは、来館者を含めたエンドユーザーへタイルの活用方法を提供できる場として、コンシェルジュによるタイル相談を行った。DIVの普及、タイルの魅力発信に努め、売上げが伸びた(対前年比22.5%増)。	8点			
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	・苦情に対し、適宜対応された。 ・視察等による職員研修の実施による接客の向上	期待以上 5点	大きな苦情等は特にないが、窓口対応の品質向上として、接客等研修を実施。	4点			
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等マスコミの取材年間127件(前年112件、前々年256件) ・細かなマニュアルの見直し、業務改善の取組実施	期待以上 15点	マスコミ等の取材に対して、丁寧な対応がなされている。多数の取材があり、旅行雑誌などでは、この地域の定番スポットとなっている。また、佳子さまご来館や、おのあこさん館内見学(・フォトフレームづくり)についても丁寧な対応がなされ、施設PRにもつながった。 取材件数については、前々年度と比較して以降、大きな伸びがない。開館して年数が経っており、建築物としてのインパクトが落ちてくる点もあるとはしているが、今後も話題になる企画・仕掛けづくりを期待したい。	10点				
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に於いて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(重程度):△3	適正に実施されている。	遅れ・不備なし 減点なし	期限内に適正に提出されている。	0点				
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	適正に実施されている。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。事務局と受付の対応が異なっていたことがあったが、改善されてきている。	0点				
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計84点		
						全体的な評価 事業に関しては仕様書どおり大変良好に実施され、知名度、集客効果も十分図られている。				良好		

5. 来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項等、評価委員会において出された意見